

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	35117	
事業名	日中一時支援事業運営補助金						
評価担当課	所属名	保)障がい保健 障がい福祉課					
	課長名	木下 健二	担当者名	荒木 駿	電話番号	011-211-2936	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外		
事業の性質	<input checked="" type="radio"/> 経常経費	<input type="radio"/> 臨時的経費					
	<input type="radio"/> 内部管理	<input type="radio"/> 法定経費	<input type="radio"/> 指定管理				
事業内容	実施形態	<input type="radio"/> 直営	<input type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input checked="" type="radio"/> 補助助成	<input type="radio"/> その他	
	目的	短期	見守り等の支援が必要な障がい者等の日中における活動の場(事業所)を利用させることで、障がい者(児)の福祉の増進を図るとともに、障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図る。				
		長期	見守り等の支援が必要な障がい者等の日中における活動の場(事業所)を利用させることで、障がい者(児)の福祉の増進を図るとともに、障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図る。				
	取組内容	【目的】日中において監護する者がいないため、一時的に見守り等の支援が必要な障がい者等の日中における活動の場を確保し、障がい者等の家族の就労支援及び障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図る。 【内容】障がいのある人を介護している人が、病気・出産・事故等の理由により、一時的に家庭において介護ができない場合に、一時的に事業所で預かり世話をを行う。事業の実施を希望する事業所は年度当初に補助金申請を行い、交付決定を受け、年度末に実績報告を行う。					
実施結果	本人及び介護にあたる同居家族等の日常生活における負担の軽減と保健衛生の向上を図ることにより、重度障がい者(児)福祉の増進を図った。						
事業実施における工夫点	様式の修正・統一化により、事務負担軽減に繋がった。						
対象者	障がい者等を日常的に介護している家族等			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	障害者総合支援法、札幌市日中一時支援事業実施要綱、札幌市日中一時支援事業運営費補助要綱						
他都市の状況	全政令都市で実施要綱を定め実施している。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	41,605	46,960	44,121	43,448
うち特定財源	0	0	0	0
人工	0.1	0.1	0.0	0.1
人件費	720	720	0	720
計(事業費+人件費)	42,325	47,680	44,121	44,168
事業費の内訳	令和3年度決算	件数29,944件×単価1,461円=43,740千円		
	令和4年度予算	見込件数29,322件×見込単価1,482円=43,448千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	利用件数		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	25713	31936	29944	29322
	指標名			
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標1				
	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	本人及び介護にあたる同居家族等の日常生活における負担の軽減と保健衛生の向上を図ることにより、重度障がい者(児)福祉の増進を図ることが出来た。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	他政令市と比較しても本市の事業規模は適切であると考えられる。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	他政令市の状況と比較しても、本市の実施手法は適切と考えられる。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	当制度により、障がい児・者の家族の就労やレスパイトに寄与出来ており、一定の満足度を得ていると考えている。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	特になし			
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	様式の修正・統一化により、事務負担軽減に繋がった。		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	障がい児・者の就労・レスパイトケアに寄与出来たと考えられるため。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ● 現状維持 ○ 休止・廃止 今後も事業を継続していく必要がある。		
	予算	○ 拡充 ● 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 今後も事業を継続していく必要があり、安定して実施するために必要な予算の確保が不可欠である。		見直し効果額 0 千円